

第4分区B 戦略計画 アンケート

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
館林 RC	<p>1. クラブ運営ビジョン</p> <p>① 各委員会の活性化 (会長、委員長の方針に基づき、委員会の総意・参画にて事業実施する) 会員の一層の参加意識の向上と親睦・一体感を図るために、委員会活動を活性化する 各委員会は、年度末前までに年初の事業計画をどこまで達成できたかをクラブ協議会等で報告等する</p> <p>② 例会の充実 (貴重な時間を割いて出席する会員に対して、少しでも満足のある運営を執行部は常に念頭に置く)</p> <p>③ 会員増強 (会員数の目標設定) 2023年6月30日現在の会員数から毎年3名以上の純増を達成 70周年は会員総数70名以上</p> <p>④ 新入会員サポート 新入会員メンター制度の充実 先進的な他RCより講師を招きメンター研修を開催 地区委員会の委員講演依頼または自クラブの研修委員による新入会員研修を開催「ロータリアンは、ロータリーを学べば、ロータリーが面白くなる。ロータリーを理解すると、行動に移せる。」の精神を新入会員に享受してもらう</p> <p>⑤ クラブ内、同好会の充実 現在のゴルフ部会、グルメ部会、ハイキング部会の他にクラブ内、同好会の充実を図り会員が親睦を深められる運営を行う</p> <p>⑥ 会員のマイロータリー100%登録の達成の推進</p> <p>2. 社会奉仕活動ビジョン</p> <p>① 新規事業の模索 (地域が今何を求めているのか、我々に何が出来るのかを常に模索する)</p> <p>② 休止状態になっている R.A.C の早期復活を行う</p> <p>③ 館林高等学校生徒の進学に際し、奨学金制度を検討する</p> <p>④ 館林・邑楽地区のスポーツ等、様々なイベントに積極的に協力をする</p> <p>⑤ 館林・邑楽地区において未整備のスポーツ・イベントの要望を探る</p> <p>⑥ 地区補助金の有効な活用を推進</p> <p>⑦ 海外姉妹RCとのグローバル補助金を活用した提携事業の推進</p> <p>3. 公共イメージと認知度向上ビジョン</p> <p>① メディアの積極的な活用を推進 (新聞、TV、インターネット等)</p> <p>② 「継続は力なり」継続事業である夏の館林まつり神輿渡御参加、冬のイルミネーション点灯事業の継続</p> <p>③ 創立5周年記念事業として設立した館林青年会議所との共同事業の推進、創立10周年記念事業として設立した館林高校インターアクトクラブへのサポート 創立15周年記念事業として設立し今は休眠状況のロータアクトクラブへの復活支援</p> <p>④ 創立70周年に向けて館林RCの公共イメージアップ事業の推進</p> <p>⑤ 市役所、アゼリアモール等にロータリー活動パネル展示 (ポリオ・米山奨学金) を継続事業として推進</p> <p>⑥ 日本遺産認定の館林市里沼 (SATO-NUMA) への、協力推進</p>	2023年	1期目	<p>パストガバナー、クラブ研修リーダー、パスト会長、今年度、次年度、次次年度会長・幹事にて委員会を設けて策定</p>

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
大泉 RC	<p>クラブ戦略目標の基本方針、指針</p> <p>1、 クラブ運営を元気にする施策</p> <p>楽しいクラブ活動にするためには、会員増強と退会防止が最も重要という視点で以下の課題に取り組みます。</p> <p>(1) 会員組織委員会では、創立55周年を迎える2021.7.を目途にクラブ会員数を40名以上で迎えること、また女性会員の確保にも尽力して行きます。</p> <p>(2) 会員増強活動を停滞させないため、例会時に会員組織委員会から近況情報発信を行います。</p> <p>(3) 会員構成が偏る事が無いように、未充填職業となっている分野の経営者や従事者へ声掛け活動を徹底して行きます。</p> <p>・税理士、会計士、保険会社、歯科医師、酒造会社、石材店、造園業へのアプローチを行う。</p> <p>(4) 大泉町内の、おおらか青年会議所、商工会議所メンバーやJC・OB、会議所OBの皆さんへの声掛けを行い会員増強活動に努めて行きます。</p> <p>(5) ゴルフ同好会のサンデークラブ、家庭菜園同好会のファーマズクラブを会員相互の交流の場として充実させて行きます。</p> <p>(6) 例会を楽しい会合にするため、会員の趣味や特技などを生かした披露の場にして行きます。</p> <p>2、 充実した奉仕活動の施策</p> <p>ロータリー活動の基本は“奉仕”です、この基本にぶれないよう広げつつ活動に取り組みます。</p> <p>(1) ボーイスカウト・ガールスカウトの子供達と緑道清掃作業などを通じ奉仕と交流を兼ねて実践します。</p> <p>(2) クラブ独自で清掃作業等の社会奉仕活動を実施する際、都合で予定した日に参加できない場合は個別（個人含む）に居住地域等の清掃作業を実践します。</p> <p>(3) クラブエリア内の高齢者施設、養護施設等への支援活動を計画し実践します。</p> <p>(4) 海外姉妹クラブとの間で国際財団活動資金(WF)を活用した奉仕活動を5ケ年以内に計画し実践します。</p> <p>3、 公共イメージを高める施策</p> <p>“知らせない活動から知らせる活動へ”ロータリー活動を知って貰えるよう取り組みます。</p> <p>(1) 大泉町を中心とした近隣中学校サッカー部への支援活動としてロータリー杯サッカー大会を継続して行きます。</p> <p>(2) 大泉町の城之内公園へ「ソメイヨシノ」桜の植栽を新たな事業としてスタートさせます。</p> <p>(3) 第4分区 B5クラブで実践した館林城沼湖畔への陽光桜植栽事業を引き続き5クラブの事業として働きかけを実践します。</p> <p>(4) クラブ会員の主要道路に面した工場外壁等を活用した大看板（900×5,000程度）の設置、設置場所を1ヶ所から2ヶ所に増設します。</p> <p>(5) クラブ会員が社会奉仕活動を実践する際には、クラブジャンパー、クラブキャップの着用を実践します。</p>	2019年	4期目	2019-20年度会長が中心となりクラブの現状（問題）を把握・分析し、長期的なクラブの目標（どのようなクラブになりたいのか？）を策定しました。
館林西 RC	<p>会員数が少なく、研修・卓話・委員会活動・メイク・地区活動への参加等のロータリー活動が活発に行われていないため、会員がロータリー活動に「楽しみ」や「やりがい」を感じにくい状況であり、この状況を打破するために様々な情報発信・行動改革を行っていくといった内容です。</p>	2019年	5期目	当時のクラブ運営委員長が作成した草案を基に、理事会にて承認を得て制定された。

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
館林東 RC	<p>クラブの長所・短所</p> <p>【長所】 会員の仲が良い／仲間意識が高い／人脈の幅が増える</p> <p>【短所】 会員数の減少／例会欠席者の増加／若い会員が少ない／ロータリーの変化に無関心</p> <p>地域社会との関係と課題</p> <p>【たてばやしウォークラリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創立当初から 30 年以上続けて支援している ・参加会員が減少（高齢のため、長距離歩けないメンバーが多い） <p>【図書費援助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市図書館へのロータリー文庫設置 ・識字率を上げる（特に子供達の）ために取り組んでいるが、結果が見えにくい <p>どのようなクラブになりたいか（ビジョン）とその為にしなければならないこと（計画）</p> <p>①明るく楽しいクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例会の出席率の向上を計る <p>②奉仕活動にもっと力を注ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会奉仕 ○ウォークラリーや図書館への助成の継続 ・国際奉仕 ○ユネスコへの協力の継続 ○国際大会への参加 ・青少年奉仕 ○館林女子高マンドリンギターへの助成の継続 <p>③若いメンバーを増やし、革新的で行動力のあるクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間を増やす（会員増強） <ul style="list-style-type: none"> ○増強委員長を中心にクラブ全体で取り組む ○若手会員や女性会員を増やす ・ロータリーを再度勉強し理解する <ul style="list-style-type: none"> ○ロータリーの歴史、現在のロータリーの活動を学ぶ ○入会したクラブの歴史、活動を知る <p>④地区目標の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の確保 ・退会防止（1 クラブ 5%以下） ・R財団（1 人 年次寄付 150 \$ 以上、ポリオ 30 \$ 以上） ・米山寄付（1 人 16,000 円以上） <p>⑤もっと地域との関りをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々に知ってもらう <ul style="list-style-type: none"> ○各イベントに新聞社やケーブルTV等に取材して頂き、地域の多くの方にロータリーの活動を周知してもらう <p>*地区や近隣クラブにも助言を求めながら、進捗の確認と見直しを定期的に行う。</p>	2020 年	2 期目	<p>作成当時、地区から何度か提出依頼があったと記憶しております。</p> <p>当時すでに会員数が減少傾向にありましたので、会員増強に重点を置き、更に、継続している奉仕活動には人数が減っても尽力出来る様、相談をして決めました。</p>

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
館林シニアRC	<p>まずは「親睦あつてのロータリー」という言葉の下に、その奉仕活動の高潔性、多様性さらには奉仕を行う際には全会員がリーダーシップをもてるような組織づくりが重要。</p> <p>○クラブを元気にする クラブへの自主サポートの強化として以下の4点を挙げる ・<u>クラブの柔軟性を育てる</u> ・<u>さまざまな奉仕活動への参加を奨励する</u> ・<u>会員の勧誘と維持に努力する</u> ・<u>リーダーを育成する</u></p> <p>これらの項目を考慮して以下の5項目の充実を図る</p> <p>1) クラブ創設時の30名を目標とした会員増強 (退会を考えないような、さらには入会してみたいと考えるような興味を持てる例会と組織づくりと活動が必要。さらに各クラブには個々の特徴があるので、クラブになじめるような方の入会が必要であり、会員選考増強委員会での活動が必要である。)</p> <p>2) 女性会員数の充実</p> <p>3) クラブ内での研修会の実施 (地区に講師を依頼するほか、クラブ会員卓話の充実)</p> <p>4) 親睦を深めるために各会員の趣味を経験する機会を設けて体験する (会員の趣味などを紹介し、さらには実践する。例) トレッキング等)</p> <p>5) 定期的に会員全員が楽しめる趣の異なる例会(親睦例会)の開催</p> <p>○地元地域に密着した奉仕活動 地域社会のニーズに応えるような奉仕内容を考えるために以下の3つの項目を確認する。 ・<u>ロータリーの7つの重点分野</u>(①平和と紛争予防/紛争解決 ② 疾病予防と治療 ③ 水と衛生 ④ 母子の健康 ⑤ 基本的教育と識字率向上 ⑥ 経済と地域社会の発展 ⑦ 環境の保全)と関連したプログラムや活動において地域に対して持続可能な活動を支援していく。 ・<u>他団体との協力やつながりを深める。</u> ・<u>地元と地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトに協力支援する。</u></p> <p>これらを考慮して以下の4項目を実践していく</p> <p>1. 昨今生じている自然災害や熱中症予防に必要とされる対策支援</p> <p>2. 日本遺産に認定された館林市の「里沼(SATO-NUMA)」に対応しクラブの「沼と語る」のテーマで活動している多々良沼清掃活動を、城沼・茂林寺沼も視野に入れ活動を拡大していく</p> <p>3. 館林市の「健康寿命延伸」「少子高齢化」など福祉等に対する支援を模索する。</p> <p>4. 既存で行っている事業についても長期的に継続していく (館林祭りの支援、国際交流協会の支援、各種団体の支援)</p> <p>○公共イメージ ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進すること。地域社会にネットワークを広げ、いろいろな方とのコミュニケーションを心がけ、あらゆる機会をとらえて地域社会の現在のニーズを拾い上げ貢献することが大切。 ロータリーに良いイメージを持っていただくためには、まず行動、活動というものが重要。そうした行動や活動が「ロータリー」という名前に結びつくためにはクラブから発信された情報が「ロータリークラブ」というキーワードに結びつくようブランディングの充実を図るためにマスコミ等に情報提供し活動のアピールを行う。 以下の2項目の充実を図ること。</p> <p>1. 現在行っている「沼と語る」の清掃活動に家族等にも参加して頂き、会員周囲の人にもロータリーをより一層理解してもらう。会員は清掃活動中クラブジャンパーやクラブTシャツを着用することによって周囲の人に視覚的認知を行う</p> <p>2. 公共機関の広報誌やメディアにクラブのより良い活動を紹介していくと共に、インターネットのホームページを活用してクラブの活動を地域社会に知ってもらうようにする。</p> <p>これらのことの実践には会員増強にも繋がるものでもある</p>	2018 -19年	5期目	長期戦略計画策定委員会を設置した